

研究分野のキーワード：英語教育学，応用言語学

研究紹介

英語を学んでいく中で、聞き覚えのある語句や文から内容を理解できると、もっと聞いてみたいというきっかけが得られます。洋楽の歌詞がすんなり耳に入ると、おもわず口ずさんでみたくなるようなことはありませんか？ これは、リスニング処理から捉えると、音韻の認知、音韻の保持、発話という複雑な過程を瞬時に行っていることになります。

あるいは部屋の中で、直接話をしている相手ではなく、周囲で話をしている人の会話から、自分が関心のある話題や名前を耳にすると、それらの内容を理解できてしまう。一方で無関心な内容であれば、耳に音韻情報は入っても、ほとんど記憶に留めることができないでしょう。このように音韻情報に対して、私たちは選択的な注意を向けて記憶に留める場合や聞き流す場合があります。このように聞くとは、漠然と聞くのではなく、能動的に行われています。

上記に示した内容は、いずれも私の主たる研究分野であるリスニングに関することです。外国語習得の基本はリスニング能力であるという観点から、音韻の認知、音韻処理を効率よく行う過程について、特に能動性やストラテジー利用に焦点を当てて研究をしています。また、学際的な視点から関連領域である認知科学や脳科学の視点も含めて研究を広範に取り扱っています。

このように、英語の音韻情報に対して聞き手が、どのように注意を向け、音韻処理を行うのかということに興味を持って研究をしています。